

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会
第5回 理事会

平成21年6月14日(日) 10:00~11:00

沖縄大学 2号館 2-505 教室

議 事 次 第

- 1 開会、出席者数の確認、議事録署名人の選出
- 2 議 事
 - (1) 総会について(資料1)
 - ①総会の進め方
 - ②交流会の進め方
 - (2) 事務局の経費等について(資料2)
 - (3) 今年度事業の実施について(資料3)
 - ①沖縄県のサンゴ礁についての現状取りまとめ
 - ②沖縄県におけるサンゴ礁保全についての提案
 - ③自然資源に関する地域での意識調査
 - ④資金調達に関する戦略の検討
 - ⑤その他活動に必要な事項
 - (4) その他理事会において必要と認めた事項
- 3 閉 会

資料一覧

資料1：総会について

資料2：事務局の経費について

資料3：今年度事業の実施

役員名簿

役職	名前
会長	西平 守孝
副会長	中野 義勝
理事	泡瀬干潟を守る連絡会 小橋川共男
	上里 幸秀 (欠)
	エコガイドカフェ 猪澤也斗志 (欠)
	沖縄エコツーリズム推進協議会 平井 和也 (欠)
	沖縄県漁業協同組合連合会 上田邦太郎
	沖縄県自然保護課 久田 友弘
	沖縄県ダイビング安全対策協議会 横井 仁志 (欠)
	鹿熊信一郎 (欠)
	梶原 健次 (欠)
	環境省那覇自然環境事務所 小林 靖英
	後藤 亜樹
	コーラルクエスト 岡地 賢
	桜井 国俊 (欠)
	寺田 麗子 (欠)
	渡嘉敷ダイビング協会 平田 春吉
	中谷 誠治
	八重山サンゴ礁保全協議会 吉田 稔 (欠)
WWF ジャパン 安村 茂樹 (欠)	
監査役	沖縄県衛生環境研究所 城間 博正
	中山 恭子

(1) 総会について

①総会の進め方

総会や理事会等で、特定の個人に発言が集中していたため、沖縄県サンゴ礁保全推進協議会の会議のルールを第3回理事会で作成した。これを総会前に読み上げて、みんなで確認してはどうか。

「沖縄県サンゴ礁保全推進協議会」会議のルール

時間は皆のものです。共有し、有効に利用しましょう。

*会議の開始、終了時刻を守りましょう

*各会員が発言できるよう、発言時間が長くなならないよう配慮しましょう

お互いの意見をよく聴き、それぞれの発言を尊重しよう。

*発言に対してははじめから否定することの無いよう配慮しましょう

*会員は全て平等な立場にありますので、自由な発言を行うことを基本としましょう

*特定の個人や団体等を誹謗中傷するような発言は行わないようにしましょう

*分かりやすい言葉や文字で、自分の意見を述べましょう

サンゴ礁保全の目的に則した議論をしましょう。

*サンゴ礁の望ましい将来を考え、サンゴ礁生態系保全の視点から建設的に議論しましょう

*提案に際しては、地域や団体などの個別利益優先の立場に陥らないように配慮しましょう

合意形成に向けてお互い努力しよう。

*問題の所在や対立点などを明確にしたうえで、合意形成を目指して議論しましょう

*反対意見がある場合には、原則として協議を重ねることによって合意形成を図りましょう

*決定すべき事項で、どうしても合意形成が図られない場合には、決定方法について協議し、定めることにします

総会の議事次第と総会での役割分担について

- ・司会、挨拶者、議長、答弁者等

②交流会の進め方

1. 日本サンゴ礁学会の紹介・入会案内など（日本サンゴ礁学会）
2. バリで行なった移植の顛末の紹介（西平先生）
3. 琉球弧における水温観測網の構築（特定非営利活動法人 海洋情報技術研究センター）
4. サンゴ礁学（浪崎、山野）
5. 広域サンゴ礁モニタリング（WWF ジャパン）
6. パネル展示（那覇自然環境事務所）
7. 宜野湾のサンゴ礁園（宜野湾美ら海を考える会）
8. 北限のジュゴンを見守る会（確認中）

※企画案「あなたの地域の悩みを共有します」

概要

グループに分かれ、各グループに地域活動を展開している話題提供者をおく。話題提供者は、地域活動上の悩みを話し、グループメンバーは、その悩みについて、自分の経験を元に助言する。解決できれば好ましいが、悩みを共有するだけでもよい。

具体的な進め方

STEP1:

地域で保全活動に取り組んでいる個人（グループ）に交流会の〇週間前までに声をかけ、「悩み共有企画」での話題提供者となることの希望を確認。交流会当日のスムーズな進行のため、「地域でのサンゴ礁生態系における脅威」や「保全活動上の悩み（人材、情報、資金）」等について、規定の書式に情報を記入してもらおう。締切りは交流会の〇日前。話題提供者は3名。話題提供者はパネルポスター発表者であれば望ましい。

STEP2:

交流会参加者を3グループに分ける。その際、事前に話題提供者は伏せておく（偏りをさけるため）。グループが分かれた後に、話題提供者がグループに参加。事前に記入してもらった内容に基づき、話題提供者が悩みを話し、適宜意見交換。悩みについて、解決できそうな場合はそのアイデアを、解決できないものは課題をまとめてもらう。話題提供者がパネルポスター発表者であれば、それも説明の際に流用する。

STEP3:

グループごとに解決、未解決の内容を発表し、全体で共有。

その他

- ・WWF アンケートの紹介

留意事項:

- ・アンケート結果の紹介はその一部となる
- ・平井さんと安村は当日参加できず、代わりの方を立てていただく必要がある

※交流会での飲食等の準備及び費用について

(2) 事務局の経費等について

会費を集めない協議会では、事務局を運営する資金すらなく総会の会場にも困る状況である。助成金を申請しようにも、事務局の運営に支出できる助成金はほとんどない。また、事業助成への応募も資金調達委員での判断が難しく、負担も大きい。そのため、予算を獲得する何らかの方法を考える必要がある。

事務局を運営する方法

- ・会費を集める。
- ・ボランティアでできることしかやらない。
- ・Tシャツなどを作成し、販売する。
- ・資金調達委員会だけにおんぶせず、検討を進めるためのワーキンググループをつくる。

助成金への申請について

- ・会員のどなたかと事業をするために申請書を作り、会員に委託して事業をすすめてもらう。
- ・会員自ら申請書を作成し、それを推進協議会の名前で出す。
- ・会員が自ら申請書を作成し、推進協議会は協働的な関係として申請。

(3) 今年度事業の実施について

今年度事業を実際にどう進めるか（誰が、何を、いつ、どうやってするか）

① 沖縄県のサンゴ礁についての現状取りまとめ

情報の収集と提供：広報委員会

沖縄県内のサンゴ礁に関する既存情報を収集し、サンゴ礁の現状について取りまとめる。取りまとめた情報は本協議会内で共有するとともに、本協議会ホームページ等を通じて一般にも発信する。

また、会員の活動内容、専門性、提供できるサービスなどの情報を収集し、サンゴ礁保全に関する人材情報を蓄積する。

② 沖縄県におけるサンゴ礁保全についての提案

サンゴ保全のための提言：企画委員会

①で行った評価結果を元に、サンゴ礁保全に必要な対策や保全活動の方向、実施可能な保全活動などを提案する。それらの提案は本協議会内で共有するとともに、本協議会ホームページ等を通じて一般にも発信する。

③ 自然資源に関する地域での意識調査

資金の収集と提供：企画委員会

WWF ジャパン（以下、「WWFJ」）より、平成 21 年度に南西諸島の自然資源に関する地域での意識調査の一環として実施する、沖縄県及び鹿児島県奄美地域での地域調査に関し、本協議会との連携による資金の提供が提案されている。これは、南西諸島の各地域において、サンゴ礁を含む自然資源を地域住民がどのように認識しているかを把握するための意識調査である。

そこで、本協議会では平成 21 年度の活動として、調査内容の検討、関係者への連絡調整及び現地調査等について、WWFJ と連携してその実施に協力する。

なお、本協議会の活動としては③「資金の収集と提供」の柱に関する活動であるが、すでに調査実施段階に入っているため、WWFJ との調整は企画委員会が当たる。

④ 資金調達に関する戦略の検討

資金の収集と提供：資金調達委員会

今後の本協議会の自立的運営を含み、必要とされるサンゴ礁保全活動に対して、どのようにその資金を獲得するか、その方法を戦略的に検討する。

⑤ その他活動に必要な事項

上記 4 つの活動以外の規約第 5 条協議会の活動に合致した活動については、理事会で承認する。

交流会

A	B	C	D	E
1 木村 匡	日本サンゴ礁学会	東京都台東区下谷3-10-10、 (財)自然環境研究センター 電話:03-5824-0967、ファックス番号:03-5824-0968、e-mail:tkimura@jwrc.or.jp	日本サンゴ礁学会の紹介・入会案内など	ボードの使用(複数枚使用可・枚数:1枚で十分ですが、前に長机を置くと2枚になるのでしようか)長机の使用(1脚)電源の使用(1コンセントのみ)
2 西平先生	西平先生		パリで行なった移植の顛末の紹介	
3 吉田 隆	特定非営利活動法人 海洋情報技術研究センター	電話090-8812-9836 / 098-864-2100 FAX020-4662-0040 E-mail yoshida@beluga.jp	琉球弧における水温観測網の構築	ボード1枚をお貸しください
4 浪崎直子 山野博哉	サンゴ礁学	山川英治 (098-875-5208、 e.yamakawa@okikanka.or.jp)	サンゴ礁学について	パネルボードの使用(1枚)
5 浪崎直子 山野博哉 安村茂樹	全国みんなで作るサンゴマップ実行委員会2009	山川英治 (098-875-5208、 e.yamakawa@okikanka.or.jp)	サンゴマッププロジェクトの紹介について	パネルボードの使用(できれば4枚)
6 小林靖英	那覇自然環境事務所			
7 具志堅 宗弘	直野湾の美ら海を考える会		直野湾のサンゴ礁園	パネル5~6点
8	北限のジュゴンを見守る会(確認中)			
9 渡邊正俊	沖縄県立与勝緑が丘中学校(確認中)		サンゴガイドになろうー学校教育におけるサンゴの教材化	ボードの使用 使用(1枚) 長机の使用 使用(2台)
10	特定非営利活動法人 海の自然史研究所			
11	砂辺のサンゴを見守る会			
12 大久保奈美			サンゴの移植について	
13 星原 貴保	ダイビングショップナチュラルブル	読谷村座喜味2753-53		
14				

第 2 回 沖 縄 県 サ ン ゴ 確 保 全 推 進 協 議 会 総 会

平成 21 年 6 月 14 日 (日) 13:15～15:15

沖縄大学 2 号館 2-506 教室

議 事 次 第 (案)

司会：

- 1 開会挨拶 ()
- 2 議 事
 - (1) 議長あいさつ ()
 - (2) 総会成立の確認
 - (3) 議事
 - ①第 1 号議案
 - ②第 2 号議案
 - ③第 3 号議案
 - ④第 4 号議案
 - ⑤第 5 号議案
- 3 閉会の挨拶 ()

総会当日のスケジュール

- 9：00 水鳥センター集合・パネルの積み込み
積み込みきれない場合は、往復し運搬
(車は環境省セレナ、科学センターハイエース)
- 9：30～10：00 理事会の準備
- 10：00～11：00 理事会
- 11：00～12：00 交流会・総会の準備
- 12：00～12：45 昼食
- 13：15～15：15 総会
- 15：20～16：30 交流会
- 16：30～17：00 片付け
- 17：00 水鳥センターへパネル運搬

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会寄付金申込書

寄付金の額

円

寄付金の使途（いずれかに○をつけてください。）

(1) 協議会の運営

(2) 総会で承認された活動計画

(3) その他サンゴ礁の保全に関すること()

上記寄付を申し込みいたします。

平成 年 月 日

住所

氏名

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会寄付金受け入れ書

寄付金の額

円

寄付金の使途

(1) 協議会の運営

(2) 総会で承認された活動計画

(3) その他サンゴ礁の保全に関すること()

上記寄付を受け入れました。

平成 年 月 日

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会 印